

01

息切れとは

息切れは離床時に患者さんが訴える症状の1つで、呼吸困難とも表現されます。

本マニュアルにおける呼吸困難の定義

離床前後に患者さんが訴える呼吸困難感



★まめ知識★

<呼吸困難と呼吸不全って何が違うの？>

呼吸困難と呼吸不全の違いを理解しておく必要があります。呼吸困難とは、アメリカ胸部疾患学会¹⁾による息切れの定義に「主観的な体験が特徴」とあるように、主観的な呼吸感覚のことを指します。一方、呼吸不全は動脈血酸素分圧 (PaO₂) が 60 torr を下回った状態を表します。呼吸不全のある人が、必ず呼吸困難を訴えるとは限らないので気を付けましょう。



臨床のコツ

I型呼吸不全とII型呼吸不全の違い

呼吸不全とは、先述の通り、PaO₂ が 60torr 以下となる状態ですが、さらに二酸化炭素の貯留の有無で2つのタイプに分かれます。動脈血二酸化炭素分圧 (PaCO₂) が 45torr 以下の場合をI型呼吸不全、45torr 以上の場合をII型呼吸不全と定義されます。I型呼吸不全とII型呼吸不全では、治療戦略が異なるので、両者の区別は临床上重要となります。



トピックス

息切れが引き起こす負のスパイラル

日常生活において、息切れの存在は、患者さんのADL・QOLに大きく影響を及ぼします。息切れに適切に対策を行い、活動量を増加させることで、負のスパイラルを絶つことが重要です。

